



# 第2期札幌市教育振興基本計画(案)

## キッズコメント意見集

～いただいたご意見と札幌市教育委員会の考え方～

(小学生・中学生の皆さんへ)

札幌市教育委員会では、これから札幌市の教育をどのように進めていくかを定めるために、「第2期札幌市教育振興基本計画」の案を作り、令和5年12月25日から令和6年1月25日までの期間、皆さんから意見を募集しました。

この資料は、皆さんからいただいた意見の主な内容と、その意見に対する札幌市教育委員会の考え方をまとめたものです。

皆さんからいただいたご意見は、どれも素晴らしく、参考になるものばかりでした。札幌市の教育が、皆さんにとってよりよいものになるように、これからも様々な取組を進めていきます。

合計805人から1,027件のご意見をいただきました！

### 学年別内訳

| 学年 | 小学生 |   |    |    |    |    | 中学生 |     |     | 不明 | 合計    |
|----|-----|---|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|-------|
|    | 1   | 2 | 3  | 4  | 5  | 6  | 1   | 2   | 3   |    |       |
| 人数 | 12  | 1 | 31 | 35 | 50 | 27 | 330 | 178 | 141 | 0  | 805   |
| 件数 | 15  | 1 | 41 | 42 | 50 | 28 | 469 | 196 | 185 | 0  | 1,027 |

※フォーム登録1回につき一人と数えています。複数ご意見をいただいた場合はその分意見数を計上しています。

### ～保護者の皆様へ～

この資料は、「第2期札幌市教育振興基本計画」の案に対し、子どもたちから寄せられたご意見の概要と、それに対する札幌市教育委員会の考え方をまとめたものです。ぜひ、お子様と一緒にお読みください。

なお、大人の方々からいただいたご意見と、それに対する札幌市教育委員会の考え方は、下記ホームページにてご覧いただけます。

[https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/shinko\\_keikaku2/shinko\\_keikaku2.html](https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/shinko_keikaku2/shinko_keikaku2.html)

令和6年(2024年)3月  
札幌市教育委員会

市政等資料番号  
01-S01-23-2838

## 寄せられた主な意見と札幌市教育委員会の考え方

### 第3章 第2期札幌市教育ビジョン

#### 1 札幌市の教育が目指す人間像

| みなさんの意見   | 札幌市教育委員会の考え方   |
|---|--|
| <p>「自立した札幌人」のテーマは抽象的なので、もっと小中学生が思い浮かべやすいものにしてほしい。</p> | <p>「自立した札幌人」に込めた思いは、本書で詳しく説明しています。また、札幌市の教育が目指す人間像「自立した札幌人」のほか、計画期間中、具体的にどのようなことに取り組むのかを、子どもたちにも分かりやすく解説した「分かりやすい版」を作成します。</p> |

### 第4章 第2期札幌市教育アクションプラン(前期)

#### 1 基本施策

##### 基本的方向性1

| みなさんの意見  | 札幌市教育委員会の考え方   |
|--|--|
| <p>施策1-1 主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進</p>             |  |
| <p>授業では、練習プリントのみではなく、分かりやすい解説プリント等を作ってほしい。</p> | <p>札幌市では、「ドリルパーク」という学習アプリを導入しており、様々な問題に取り組んだり、詳しい解説を確認しながら学習を深めたりするなど、自ら家庭学習を進めることが可能となっていますので、学校の先生にも相談しながら活用を進めてみてはいかがでしょうか。</p> |
| <p>勉強が苦手な子どもも進んで学習に取り組むことができるやり方があるといい。</p>    | <p>人はそれぞれに違いがあり、どんな人でも進んで取り組める方法があるわけではありません。自分には、どんな学習方法が合っているかについて、もう少し考えてみてください。困ったときには、周りの大人に相談すると、よいアドバイスをもらえるとと思います。</p>     |

|  |  |
|--|--|
| <p> <small>こた わ ひと おし じかん</small><br/>       答えが分からない人に教える時間があるといい。<br/> <small>がくしゅう さつぽろし ひと こえか</small><br/>       学習につまづいている人への声掛けや、生徒同士の教え合いを大切にしてほしい。<br/> <small>るいじいけん けん</small><br/>       (類似意見3件)     </p> | <p> <small>がくしゅう りかい ひろ ふか うえ せいと</small><br/>       学習の理解を広げたり、深めたりする上で、生徒どうし<small>まな あ きょうどうたんきゅう</small>の学び合い(協働探究)はとても大切です。<br/> <small>さつぽろし わ たの</small><br/>       札幌市では、これまでも分かる・できる・楽しい授業づくりの充実を図ってきましたが、今後もひとりひとり<small>がくしゅうじょうきょう よ そ じゅぎょう なか まな</small>一人一人の学習状況に寄り添い、授業の中で学び合いの場を設定できるように、各学校で取り組んでいきます。     </p>  |
| <p> <small>かんじ か じゅん おぼ</small><br/>       漢字の書き順を覚えることができる教材を作してほしい。     </p>   | <p> <small>ひつじゅん かんしん かんじ がくしゅう すす</small><br/>       筆順に関心をもって漢字の学習を進めていくことは、文字を正しく整えて書く力を養うことにつながります。<small>ひつじゅん きほんてき げんそく しよしゃ</small>筆順の基本的な原則は、書写の学習の中で学びます。<small>がくしゅう なか まな はんがくれんしゅう まるあんき</small>反復練習や丸暗記だけで筆順を覚えるよりも、基本的な原則を理解し活用していくことで、新しく学習する漢字の筆順を<small>あたらし がくしゅう かんじ ひつじゅん</small>推測できるようになるなど、漢字の学習の幅を広げていくことが大切だと考えます。<br/>       なお、札幌市では、「ドリルパーク」という学習アプリを導入しており、なぞり書きの練習で筆順も学ぶことができるので、筆順の原則を活用しながら<small>ちようせん</small>挑戦してみてください。     </p> |
| <p> <small>せいりせいとん まな じゅぎょう</small><br/>       整理整頓を学ぶ授業をしてほしい。     </p>   | <p> <small>せいりせいとん しょうがく ねんせい かていか じゅぎょう がくしゅう</small><br/>       整理整頓は、小学5年生の家庭科の授業で学習しますが、それ以外の教科や学校生活、日常生活を通して、学び、身に付けていくことです。<small>とのお まな み がつこう</small>学校だけではなく家庭や地域の様々な人に相談をしながら<small>まな おも</small>学んでほしいと思います。     </p>   |
| <p> <small>しゅうじゅくどべつ じゅぎょう</small><br/>       習熟度別クラスの授業をしてほしい。<br/> <small>どういけん けん</small><br/>       (同意見3件)     </p>   | <p> <small>てん と もくてき</small><br/>       テストでよい点を取るということだけを目的とするのであれば、習熟度別の学級で学んだ方がよいという面もあるかもしれませんが、世の中には、テストのように、あらかじめ答えが決まっている問題だけではなく、答えが決まっていない問題がたくさんあります。また、多様な他者とともに、それぞれの良さを生かしながら、力を合わせて、よりよい社会をつくっていく必要があります。児童生徒の皆さんには、様々な学びを通して、未来の予測が困難な時代の中を生き抜く力を付けてほしいと考えられています。     </p>  |

学校のイメージを、辛くてつまらないイメージから、楽しいイメージに変えてほしい。

今勉強することが大切であること、学習だけではなく、生活の中での学び(手伝いなど)も大切であることを伝えてほしい。

(同意見1件／類似意見2件)

学校は、「みんな違う」多様な人からなる小さな共同社会です。皆さんには、そのような学校において、教科等における学習だけでなく、あらゆる教育活動を通して、自分らしく生きていくことや、自分とは違う他者と共に生きていくことを学んでほしいと願っています。

札幌市では、自ら疑問や課題をもち、主体的に解決する「課題探究的な学習」と、よりよい学校づくりについて、自分たちの問題を自分たちで解決に向けて責任をもって取り組む「さっぽろっ子自治的な活動」を二本柱として推進しています。自分の「～したい」を実現していくことは本来楽しいはずですが、みんなが「通いたい」と思える楽しい学校を一緒に創り上げていきましょう。

運動機会を増やすために、体育の授業を増やしてほしい。

(同意見2件)

各学校では、国が定める「学習指導要領」に基づいて、1年間の授業計画を立てています。他の教科との兼ね合いもあり、特定の授業だけを増やすことは難しいですが、運動の機会を充実させるための工夫については、生徒会活動などの自治的な活動と関連付けるなどして、先生に相談をしてみてください。

算数の少人数授業を継続してほしい。

札幌市では、これまで、高学年の算数の授業を少人数で行う「にーごー」の取組を進めてきました。

今後は、小学校の全学年で少人数学級が実現することから、これまで「にーごー」で大切にしてきた、みんなで思考力を高める授業を、学級単位で進める「beyond」という取組に発展させていきます。

英語で会話する機会を増やしてほしい。

(類似意見1件)

文部科学省が基準として示している学習指導要領における外国語科の目標の中にも、「考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにすること」と明記されています。即興でやり取りできる力はとても大切で、これからもその力が身に付

|  |   |
|--|---|
|  | <p>くような授業の充実や授業外での機会創出に向けて、札幌市内の英語科の先生と一緒に考えていきます。皆さんも、日常生活で機会を見つけて、積極的に英語で会話をしてほしいと思います。</p>   |
| <p>英語だけでなく、韓国語や中国語など他の言語を学ぶ機会を作してほしい。<br/>(同意見2件)</p>                | <p>多くの国で英語が使われており、全国的に見ても、英語以外の外国語の科目を開設している公立中学校は数校しかありません。英語以外の言語にも興味があることは、素晴らしいことですので、積極的に勉強したり交流の機会に参加する等してほしいと思います。なお、高等学校では、英語以外の外国語の科目を開設している学校がありますので、進路先を検討する際の参考にしてください。</p> |
| <p>ALT の先生と勉強できる機会を増やしてほしい。<br/>(同意見6件)</p>                          | <p>外国の文化に触れながら、英語で伝え合う力を高められるように、ALT の授業の充実を図っていきます。</p>  |
| <p>発音に慣れたり、声を出すことのためらいをなくすため、ALT の授業を小学1年生から行ってほしい。<br/>(類似意見1件)</p> | <p>早い段階から英語に慣れ親しむために、小学3、4年生の外国語活動では、全ての授業で ALT と一緒に活動することができるようになります。</p>  |
| <p>ALT の人数を増やしてほしい。<br/>(同意見2件)</p>                                  | <p>今後、ALT の人数を増やしていく予定です。これにより、小学3～6年生の授業でより多くの時間、一緒に学ぶようになります。</p>   |
| <p>外国語担当の先生と ALT との間で上手く連携が取れるととっても有意義な授業になると思う。</p>                 | <p>子どもが英語で自分の考えや思いを伝え合う「言語活動」を通した授業づくりにおいて、ALT の効果的な活用を図ることができるよう、英語教員や ALT を対象とした研修を実施していきます。</p>  |
| <p>ある程度日本語を理解でき、話せる ALT を育成してほしい。<br/>(同意見6件、類似意見7件)</p>             | <p>ALT は、研修を通して、授業力や子どもとの関わり方などを学んでいます。言葉の壁を乗り越えて、授業以外の給食や休み時間等にも、ALT に話しかけてみてください。</p>   |
| <p>特別支援学級にも ALT の先生が来てほしい。</p>                                       | <p>特別支援学級においても、ALT と一緒に学ぶことができますので、先生に思いを伝えてみましょう。</p>  |

|  |   |
|--|---|
| <p>しょうらい ひつす しょうぎょう たいけん<br/>将来、必須となる職業を体験できる<br/>とくみ<br/>取組があるといい。<br/>るいじいけん けん<br/>(類似意見1件)</p> | <p>さっぽろし か き とうききゅうぎょうちゅう しょうぎょうたいけん<br/>札幌市では、夏期・冬期休業中に職業体験が<br/>できる「進路探究学習オリエンテーリング」事業を<br/>しんろたんきゅうがくしゅう じぎょう<br/>実施していますので、皆さんの興味・関心に応じて<br/>おほ<br/>応募してみてください。また、「将来必須になる<br/>しょうらいひつす<br/>職業」がどのようなものを指すのかについて、ぜ<br/>ひおし<br/>おし へんけん さっぽろし こんご みな<br/>ひ教えてください。札幌市では、今後も、皆さんの<br/>きたい そ しょうぎょうたいけん<br/>期待に沿うことができるような職業体験プログ<br/>ラムの企画について検討を重ねていきます。</p> |
|--|---|

し さ く ゆ た にんげんせい しゃかいせい はくく きょういくかつどう すいしん  
施策1-2 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進

|  |   |
|--|---|
| <p>ひとりひとりが たが みと あ かてい<br/>一人一人がお互いを認め合い、家庭<br/>み め さべつ きょういく<br/>や見た目などで差別しない教育が<br/>たいせつ おも<br/>大切だと思う。<br/>るいじいけん けん<br/>(類似意見1件)</p> | <p>さっぽろし きょういくかつどう たが<br/>札幌市では、あらゆる教育活動において、互いに<br/>かけがえのない人間としての尊厳や個性、多様性<br/>にんげん せんげん こせい たようせい<br/>を認め合い、あらゆる偏見や差別をなくし、支え励<br/>みと あ へんけん さべつ ささ はげ<br/>まし合う温かい人間関係をつくっていくことが<br/>あ あたた にんげんかんけい<br/>大切だと考えており、一人一人が「自分が大切に<br/>たいせつ かんが ひとりひとり じぶん たいせつ<br/>されている」と実感できる学校づくりを目指してい<br/>ます。このことを踏まえ、全ての子どもを<br/>しゅうやく ぶん すべて こ こえ<br/>集約してつくられたのが、さっぽろっ子宣言「プ<br/>ラスのまほう」です。今後もこの宣言に基づく取組を<br/>こんご せんげん ちと とくみ<br/>とお じ た たいせつ ところ はくく<br/>通して、自他を大切にすることを育んでいきましょ<br/>う。</p> |
|--|---|

|   |   |
|---|---|
| <p>はつげん かんきょう つく<br/>発言しやすい環境を作してほしい。</p> | <p>さっぽろし すべて きょういくかつどう きほんてき<br/>札幌市では、全ての教育活動において基本的<br/>じんけん せんちよう たが<br/>人権を尊重するとともに、互いにかげがえのない<br/>にんげん せんげん こせい たようせい みと あ<br/>人間としての尊厳や個性、多様性を認め合い、あ<br/>らゆる へんけん さべつ ささ はげ あ あたた<br/>あらゆる偏見や差別をなくし、支え励まし合う温か<br/>い人間関係ができるような学校を、皆さんと一緒に<br/>にんげんかんけい がっこう みな いっしょ<br/>につくっていきたいと考えています。</p> |
|---|---|

|   |   |
|---|---|
| <p>がっきゅう がくねん こうりゅう じかん ぶん<br/>学級や学年での交流の時間を増や<br/>してほしい。<br/>どういけん けん るいじいけん けん<br/>(同意見3件／類似意見4件)</p> | <p>がくしゅう せいかつばめん なかま こうりゅう<br/>学習や生活場面において、仲間と交流することか<br/>らえられる学びは大切であると かんが<br/>考えています。<br/>こんご かくがっこう こうりゅう じかん う だ<br/>今後も、各学校において交流の時間を生み出せる<br/>よう工夫していきますので、ぜひ学校の先生に<br/>く ぼう がっこう せんせい<br/>もこのような願いや思いを伝え、一緒に考えなが<br/>ねが おも つた いっしょ かんが<br/>ら実現してほしいと思います。</p> |
|---|---|

|   |  |
|---|--|
| <p>ほか ひと こうりゅう じゅぎょう<br/>他のクラスの人と交流する授業を<br/>してほしい。</p> | <p>たよう ひと かん あ まな ぶんか せいちよう<br/>多様な人と関わり合うことで、学びは深まり成長<br/>じゅぎょう<br/>につながります。それは授業だけでなく、あらゆる</p> |
|---|--|

|   |  |
|---|--|
| <p>るいじいけん けん<br/>(類似意見3件)</p>   | <p>きょういっかつどう い ひとりいちだいたんまつ<br/>教育活動について言えることです。1人1台端末<br/>どうにゅう かとうせい おお ひろ がっきゅう<br/>の導入は、その可能性を大いに広げました。学級<br/>がくねん こうしゅ わくぐ こ まな きかい<br/>や学年、校種の枠組みを越えて学ぶ機会について<br/>かくがっこう きょういっかつどう<br/>は、各学校がそれぞれの教育活動のねらいのも<br/>と、さまざまを総合的に考えて設定しています<br/>さまざま そうごうてき かんが せってい<br/>が、その「さまざまなこと」には、皆さんの思いや願い<br/>さまざま さまざま みな おも ねが<br/>も含まれます。学校の先生にも、今回の意見を<br/>がく がっこう せんせい こんかい いけん<br/>提案として伝えてほしいと思います。<br/>ていあん つた おも</p>   |
| <p>たこう こうりゅう ふ<br/>他校との交流が増えるといい。<br/>どういけん けん るいじいけん けん<br/>(同意見1件／類似意見2件)</p>   | <p>きんりん がっこう とりくみ こうりゅう おな もくてき<br/>近隣の学校と取組を交流したり、同じ目的をもち<br/>きょうりよく とく かつどう はば ひろ さまざま<br/>協力して取り組んだり活動の幅を広げ、様々な<br/>ひと こうりゅう<br/>人と交流をしていくことは大切なことだと考え<br/>たいせつ かんが<br/>ます。札幌市では、「さっぽろっ子自治的な活動」<br/>さっぽろし こじちてき かつどう<br/>を充実させるために、令和6年度、札幌市の子ども<br/>じゅうじつ れいわ ねんど さっぽろし こ<br/>たちがよりよい学校づくりに向けて意見を交流<br/>がっこう いけん こうりゅう<br/>する「さっぽろっ子サミット」を開催します。ぜひ、<br/>こ かいさい<br/>積極的な参加をお願いします。また、自分の学校<br/>せっきよくてき さんか ねが じぶん がっこう<br/>でも、様々な人と交流するために、どのようなこと<br/>さまざま ひと こうりゅう<br/>とができるかを考えて行動してもらいたいと思<br/>かんが こうどう おも<br/>います。</p> |
| <p>じりつ こうれいしゅ<br/>自立や高齢者をサポートするため、<br/>ゆき てつだ かつどう のうぎょう てつだ<br/>雪かきを手伝う活動や農業を手伝<br/>そうごう がくしゅう おこな<br/>う総合の学習を行うといい。</p> | <p>そうごうてき がくしゅう じかん きょうかどう わく こ<br/>総合的な学習の時間では、教科等の枠を超えた<br/>おうだんてき そうごうてき がくしゅう おこな<br/>横断的・総合的な学習が行われるため、職業や<br/>しよくぎょう<br/>自己の将来に関することや地域の人々と関わり<br/>じ こ しょうらい かん ちいき ひとびと かが<br/>合いや体験的な活動等、様々な学びが考えられ<br/>あ たいけんてき かつどうどう さまざま まな かんが<br/>ます。それぞれの学校でねらいや内容は異なると<br/>がっこう ないよう こと<br/>しても、「自立をするためや高齢者などをサポート<br/>じりつ こうれいしゅ<br/>するためにはどうしたらよいか」という視点を<br/>してん<br/>もち、それらに関連付けて考えていくことは、学<br/>かんれんづ かんが まな<br/>びの幅を広げるはずです。「さっぽろっ子自治的な<br/>はば ひろ こじちてき<br/>活動」につなげていくこともできるかもしれませ<br/>かつどう<br/>ん。</p>                    |
| <p>どうとく じゆぎょう いろいろ ひと かんが<br/>道徳の授業は、色々な人の考えを<br/>き 間くためにも、クラスを混ぜて行っ<br/>ま おこな<br/>たほうがいい。<br/>るいじいけん けん<br/>(類似意見1件)</p> | <p>どうとく じゆぎょう みな みかた かんが かつ<br/>道徳の授業では、皆さんが、ものの見方や考え方<br/>さまざま ひと こうりゅう つう たしゅ<br/>を様々な人と交流することを通じて、他者とより<br/>よく生きていくための力を身に付けることを<br/>い ちから み つ<br/>目標としています。<br/>もくひょう<br/>せんせいがた みな じぶんじしん せいかつ い かつ<br/>先生方は、皆さんが、自分自身の生活や生き方に<br/>かた</p>   |

|   |  |
|---|--|
|   | <p>ついて考えを深めることができるよう、研究を進めています。</p> <p>これからも積極的に授業に参加し、友達と意見を交わしながら豊かな心を育ててほしいと思います。</p>   |
| <p>性教育を充実させてほしい。</p>  | <p>各学校では、国が定める「学習指導要領」に基づいて、各教科ごとに学習計画を立てています。</p> <p>中学校では、保健体育や家庭科の授業を中心に、計画的に性教育を進めています。様々なことに配慮しながら、慎重に性教育を進める必要がありますので、今後も、皆さんの健康・安全を守るための指導の在り方について、札幌市としても検討を重ねていきます。</p>                               |
| <p>読書する機会が少ない人が多いと思うので、読書が好きな人も含めて、朝読書だけでなく、授業の中でも本に触れる機会を取り入れて、読書の時間を増やしてほしい。<br/>(同意見8件／類似意見8件)</p> | <p>学校の一日の日課は、年間で決められている授業の時間や、放課後の活動時間、下校時間等について、配慮しながら決めていきます。思いを学校に伝えたり、学級や生徒会、部活等で読書の時間や企画ができないか、先生や友達と相談してみたりしてはいかがでしょうか。また、学校図書館でも、できるだけ多くの方が本を手取るよう、先生や図書委員や学校司書が工夫をしています。ぜひ、友達を誘って、学校図書館に行ってみてください。</p> |
| <p>読みやすい本を増やしてほしい。</p>  | <p>学校図書館の蔵書は、各学校でそれぞれ整備を行っており、興味をもってもらえるような本や必要な本等を毎年検討して購入しています。読みやすい本やおすすめの本があれば、学校で図書委員会や先生に提案してみたいはいかがでしょうか。</p>   |
| <p>朝読書の代わりに自習したい。<br/>(同意見2件／類似意見1件)<br/>朝読書の時間に漫画を読みたい。</p>  | <p>札幌市では、読書によって言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにしたり、知的好奇心をふくらませたりすることを大切にしたいという願いから、「読書」を共通のテーマとして全ての園や学校で推進しています。</p> <p>気になるテーマについて本で調べたり、自分とは違う筆者の考えに触れたりするなど、主体的な</p>   |

|   |  |
|---|--|
|   | <p>どくしよたいけん みかた かんが かつ ひろ<br/>読書体験によって、見方や考え方を広げることも<br/>だいじ まな ひと<br/>大事な学びの一つです。</p> <p>また、まんが をよむ ことでも、自分の生き方につい<br/>て かんが こと たら たら はっけん<br/>て 考えたり、新たな発見がありますが、活字をよ<br/>む ことによさがあります。</p> <p>あさどくしよ かつどう もくてき さまざま ほん ぶん<br/>朝読書の活動の目的と、様々な本に触れるよさを<br/>ふ がっこう せんせい いっしょ かんが<br/>踏まえて、学校の先生と一緒に考えてみてはいか<br/>がでしょうか。</p>  |
| <p>ちようききゆうかちゆう としよかん かいほう<br/>長期休暇中、図書館を開放してほしい。</p>                              | <p>ちようききゆうきゆうちゆう かいしつ きぼう りゆう<br/>長期休業中の開室を希望する理由によって、<br/>かいとう こと おも<br/>回答は異なると思いますが、読書という目的であ<br/>れば、多くの学校図書館では、長期休業中にも<br/>おお がっこうとしよかん ちようききゆうきゆうちゆう<br/>読書に親しめるように、休業前に長期貸出しをし<br/>ていますので、ぜひ利用してみたいかがでしょ<br/>うか。また、札幌には、図書のある施設や、電子<br/>としよかんとう<br/>図書館等もありますので、いつもと違う図書資料<br/>に出会い、視野を広げる機会として、活用すること<br/>をお勧めします。</p> <p>なお、かいほうとしよかん じっし がっこう ちようき<br/>開放図書館を実施している学校では、長期<br/>きゆうきゆうちゆう とくべつかいかん び もう<br/>休業中に特別開館日を設けているところがあ<br/>り、とうがいこう じどうせいと かつ りゆう<br/>当該校の児童生徒ではない方でも利用すること<br/>ができます。</p> |
| <p>やがいかつどう せっきよくてき ぶん<br/>野外活動を積極的に増やしてほしい。</p>                                   | <p>さっぽろし やがいきやういくしせつ せいしやうねんやま いえ じやうざんけい<br/>札幌市の野外教育施設(青少年山の家、定山溪<br/>しぜん むら<br/>自然の村)では、星空観察やスノーシューハイキン<br/>グなど、それぞれのフィールドを活かした体験<br/>かつどう おこな<br/>活動を行っています。今後は地域単位でもこう<br/>した活動機会の充実に向けて検討していきます。</p>   |
| <p>こうがいがくしゆう ぶん<br/>校外学習を増やしてほしい。<br/>(どういけん けん るいじいけん けん)<br/>(同意見1件/類似意見2件)</p> | <p>こうがいがくしゆう たやう たしや こうがい ゆた<br/>校外学習における、多様な他者や校外の豊かな<br/>しぜん ぶんか ぶん<br/>自然、文化に触れる体験等を通して、学びが深ま<br/>っていきます。各学校で、ねんかんけいかく こうないそと<br/>各学校で、年間計画は校内外の<br/>がくしゆう ぶん<br/>学習のバランスを踏まえ、ねらいと目的をもって<br/>さくせい<br/>作成していますので、校外でどのような活動を通<br/>して、どのようなちから み につけたいのかをめいかく<br/>し、学校に意見を伝えてみてはいかがでしょうか。</p>   |
| <p>しさく たやう きやういくてき おう きやういく じゆうじつ<br/>施策1-3 多様な教育的ニーズに応じた教育の充実</p>                |  |

|  |  |
|--|--|
| <p>にほんご わ ひと がっこう く<br/>日本語が分からない人も学校に来<br/>ることができるようにしたい。</p>   | <p>さっぽろし にほんご わ じどうせいと<br/>札幌市では、日本語が分からない児童生徒を<br/>たいしやう にほんごしどう しく そうだんまどぐち<br/>対象に、日本語指導をする仕組みや相談窓口が<br/>あります。まわ こま ともだち<br/>周りに困っている友達がいるのでした<br/>ら、がっこう つう そうだん つた<br/>学校を通じて、相談するように伝えてあげてく<br/>ださい。</p>   |
| <p>しさく だれ あんしん まな む しえん じゆうじつ<br/>施策1-4 誰もが安心して学びに向かうことができる支援の充実</p>   |  |
| <p>なや きがる そうだん ばしよ<br/>悩みを気軽に相談できる場所がほ<br/>しい。</p>   | <p>こま なや<br/>困ったことや悩んでいることがあるときには、<br/>みちか ひと そうだん たいせつ ひとり かか<br/>身近な人に相談することが大切です。一人で抱え<br/>こ なく へい<br/>込まずに、スクールカウンセラーも含め校内で話し<br/>やすい先生に、声をかけてほしいと思います。皆<br/>せんせい こえ おも みな<br/>さんからの意見を受け止め、これからも、相談しや<br/>すい しく みづくりをすす<br/>すい仕組みづくりを進めていきます。</p>   |
| <p>せいかつ<br/>いじめのない生活にしてほしい。</p>  | <p>いじめは、相手の存在や価値、生き方を踏みにじ<br/>るじんけんしんがいこうい<br/>る「人権侵害行為」です。そのため、国では「いじめ<br/>ぼうし たいさくすいしんぼう だい じよう こ<br/>防止対策推進法」の第4条で「子どもは、いじめを<br/>おこな した<br/>行ってはならない」と定めています。いじめを行<br/>うことは法律違反に当たるということを、皆さん<br/>ほりつ いはん あ みな<br/>に深く理解してほしいと思います。一人一人が<br/>ふか りかい おも ひとりひとり<br/>安心して楽しい学校生活を送るためには、いじめを<br/>あんしん たの がっこうせいかつ おく<br/>防ぐ必要がありますが、そのために、自分たちに<br/>ふせ ひつよう じぶん<br/>何ができるかを考え、行動を起こしてほしいと思<br/>いいます。みな おも<br/>皆さんが、思いやりの気持ちをもち、互い<br/>みと ささ あ あたに じんげんかんけい なか すこ<br/>に認め、支え合う温かい人間関係の中で健やか<br/>にせいちよう<br/>成長していくことを願っています。</p> |
| <p>こ じさつ<br/>いじめによる子どもの自殺をなくす<br/>ため、いじめ たいさく とりくみ ちから い<br/>対策の取組に力を入れてほしい。</p>                             | <p>このような悲しいことが起こらないように、がっこう<br/>きょういくいいんかい いじよう とりくみ きょうか<br/>教育委員会でこれまで以上に取組を強化してい<br/>きます。皆さんは、一人一人かけがえのない大切<br/>みな ひとりひとり たいせつ<br/>な存在です。自分自身や周りの人が悩みを抱えて<br/>いるときには、かそく ゆうじん<br/>家族や友人、スクールカウンセラー<br/>などに相談してください。他にも信頼できる相談<br/>そうだん ほか しんらい そうだん<br/>窓口があり、皆さんをサポートしてくれます。</p>   |
| <p>さっぽろし ほか<br/>いじめは札幌市だけではなく、他の<br/>し お<br/>市でも起こっていることなので、い<br/>じめ たいさく さっぽろし かくし<br/>じめ対策について、札幌市から各市</p> | <p>いじめはいつでもどこでもおこりうることです。<br/>だいじ みぜんぼうし そうきはっけん たいしよ<br/>大事なことは、いじめの未然防止、早期発見・対処<br/>です。さっぽろし さっぽろし ぼうしどう<br/>ですが札幌市では、「札幌市いじめの防止等のた</p>  |

|   |   |
|---|---|
| <p>にもっと発信できれば良いと思う。</p>                                     | <p>めの基本的な方針」を市のホームページに掲載し、札幌市以外からも見るように発信しています。</p>   |
| <p>先生に、生徒の相談を聞く時間を作ってほしい。<br/>(同意見2件)</p>                   | <p>学校では、悩みごとに関するアンケートを実施したり、先生方と個別にお話をする時間を作ったりして、皆さんが相談しやすい環境づくりに努めています。また、学校以外の様々な相談窓口を児童生徒の皆さんに紹介しています。今後は、皆さんが日頃使っている1人1台端末に皆さんの困りや悩みをキャッチするためのアプリを導入するなど、皆さんの意見を聞きながら、より相談しやすい環境づくりを進めていきます。</p> |
| <p>スクールカウンセラーは、男女問わず相談しやすい存在でいてほしい。<br/>(同意見2件／類似意見10件)</p> | <p>皆さんの意見から、心の専門家であるスクールカウンセラーへの期待の大きさを感じました。スクールカウンセラーは、相談室で個人的に相談を受けだけでなく、皆さんの心の健康を保つために、色々なところで児童生徒に積極的に関わっていくことが大切だと考えています。これからもスクールカウンセラーの専門性を生かして皆さんを支える取組の充実を進めていきます。</p>                      |
| <p>スクールカウンセラーが、もっと子ども達と触れ合ったらいいと思う。</p>                     | <p>「心の専門家」であるスクールカウンセラーが子どもたちと触れ合うことは大切なことです。スクールカウンセラーは、多くの時間、子どもや保護者との相談を行っています。そのほか、先生たちと一緒に授業を行うこともあります。話をしてみたいときには、担任の先生や話しやすい先生にそのことを伝えてください。</p>   |
| <p>心の専門家に相談したいのに、誰に言えばいいのかわからない。<br/>(類似意見1件)</p>           | <p>皆さんの学校には「心の専門家」であるスクールカウンセラーが必ずいて、子どもや保護者の相談に応じています。スクールカウンセラーは、常に学校にいるわけではないので、相談したいときは、担任の先生や話しやすい先生に相談したいことを伝えてください。</p>  |

| みな いけん<br>皆さんの意見  | さっぽろしきょういくいいんかい かんが かつ<br>札幌市教育委員会の考え方   |
|---|--|
| しさく さっぽろ とくしよく い ちいき ね ざ きょういくかつどう すいしん<br>施策2-1 ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根差した教育活動の推進 |  |
| <p>がっこう つき かい がつきちゅう<br/>学校で「月1回」「1つの学期中に1回」など、定期的に自然と触れ合わせる機会を作してほしい。</p>    | <p>しぜん した しぜん きょうせい かんが<br/>自然と親しむことや自然との共生について考えることはとても大切なことであり、札幌市としても、体験的な活動は大変重要と考えています。</p> <p>どのような活動をどれくらいするのかは、それぞれの学校が地域の特色なども生かしながらかえていくことですが、ぜひ、このような意見を学校にも届けて、より充実した機会をつくってほしいとおもいます。</p> |
| <p>つか ゆきあそ ゆきがっせん<br/>グラウンドを使った雪遊び(雪合戦など)を増やしてほしい。<br/>(類似意見1件)</p>           | <p>ゆき さっぽろ たいせつ とくしよく ひと さっぽろ<br/>「雪」は札幌の大切な特色の一つであり、「札幌らしさ」を学ぶための貴重な資源と考えています。</p> <p>また、グラウンドでの雪遊びを増やすことは、運動をする機会を充実することにもつながる素晴らしい考えですので、外に出ることが苦手な友達も巻き込みながら、学校に提案してみてもいいかがでしょうか。</p>              |
| <p>ぜんしてき がくしゅう じょう<br/>全市的に、スキー学習はスキー場で行うことにしてほしい。<br/>(同意見4件／類似意見6件)</p>     | <p>さっぽろし だいとし しぜん めぐ<br/>札幌市は大都市でありながら、自然に恵まれていて、近隣にはスキー場も多くあります。そのような札幌の素晴らしい自然環境等を生かしながらか体験的な学習を実施することは貴重な経験になります。それぞれの学校が地域の特色を生かしながらか、様々なウィンタースポーツや雪を使った活動に取り組んでいます。学校にも意見として提案してみてもいいかがでしょうか。</p> |
| <p>がくしゅう じょう か<br/>スキー学習で行くスキー場を変えてほしい。</p>                                   | <p>それぞれの学校が地域の特色を生かしながらか、様々なウィンタースポーツや雪を使った活動に取り組んでおり、スキー場の選択についても、学びの目的に沿って、コースの種類や難易度を検討しています。また、移動時間や費用など様々な条件もあると思いますので、具体的な理由も含めて、学校に相談してみてもいいかがでしょうか。</p>  |

|  |  |
|--|--|
| <p>ちゅうがっこう すいえい じゆぎょう<br/>         中学校で、水泳やスキーの授業を<br/>         おこな<br/>         行ってほしい。<br/>         るいじいけん けん<br/>         (類似意見25件)</p>                                       | <p>さっぽろし たいけんてき かつどう たいへんじゅうよう かんが<br/>         札幌市としても、体験的な活動は大変重要と考<br/>         えており、これからもさっぽろし ぜんたいで推進していき<br/>         ます。各学校では、かかがっこう がっこう ちいき じつたい おう<br/>         学校や地域の実態に応じて、<br/>         教科ごとにがくしゅうけいかく た かなら<br/>         学習計画を立てています。必ずしも<br/>         す 好きなしゆもく と く 組むことができないかもしれま<br/>         せんが、みなさんがちからの 伸ばしていけるようさまさま<br/>         なとりくみ つづ<br/>         取組を続けていきます。</p>  |
| <p>こ<br/>         子どもだけではなくおとな たの<br/>         大人も楽しめる<br/>         ゆきあそび かんが<br/>         雪遊びを考えてほしい。</p>   | <p>かてい ちいき がっこう<br/>         家庭や地域ともにある学校づくりをよりよくする<br/>         ために、こ 子どものこえ か<br/>         声は欠かせません。とてもすば<br/>         らしい視点をだと思ひますので、ちいき かなたがた いっしょ<br/>         地域の方々と一緒に<br/>         ゆきあそび きかい がっこう ともだち<br/>         雪遊びができる機会について、学校の友達と<br/>         きょうりよく がっこう ちいき かなたがた ていあん<br/>         協力しながら、学校や地域の方々にも提案して<br/>         ほしいと思ひます。</p>   |
| <p>どくしょ ゆきあそび きら ひと<br/>         読書や雪遊びが嫌いの人のために、<br/>         べつ とりくみ<br/>         別の取組もしてほしい。<br/>         るいじいけん けん<br/>         (類似意見2件)</p>                                 | <p>さっぽろし さっぽろ きちよう しげん ゆき した<br/>         札幌市では、札幌の貴重な資源である雪に親し<br/>         み、ゆき きょうせい しようとするこころ ところ 読書によって<br/>         ことば まな かんせい みが ひょうげんりよく たか そうぞうりよく<br/>         言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力<br/>         をゆたかにしたり、ちてきこうきしん<br/>         知的好奇心をふくらませたりする<br/>         ことをたいせつにしてほしいという願ひから「雪」や<br/>         「どくしょ きょうつう」を共通のテーマとして、すべ えん がっこう<br/>         全ての園や学校で<br/>         すすひん すすひん ゆき 読書を<br/>         推進しています。「雪」や「読書」のよさを、より多く<br/>         のひと じっかん<br/>         の人に実感してもらうためにはどうしたらよいで<br/>         しょうか。いいんかい かつどうとう とお なかま いっしょ かんが<br/>         委員会活動等を通して仲間と一緒に考<br/>         えてみてほしいと思ひます。みなさんの じちてき<br/>         自治的な<br/>         かつどう きたい<br/>         活動に期待しています。</p> |
| <p>ちきゅうおんだんか はいりょ とりくみ おこな<br/>         地球温暖化に配慮した取組を行っ<br/>         てほしい。</p>   | <p>SDGs のりねん じぞくかのう しゃかい きず うえ<br/>         理念でもある持続可能な社会を築く上<br/>         で、たいせつ かんが<br/>         大切な考 えです。さっぽろし かなきやうとし<br/>         札幌市では、「環境都市・<br/>         さっぽろ せんげん もと さまさま とりくみ おこな<br/>         札幌」宣言に基づき、様々な取組を行って<br/>         います。みなさんががっこう<br/>         が学校でできることはどのようなこと<br/>         なのか、かんが<br/>         考 えていくことも重要です。せつでん やごみ<br/>         のさくげん 削減、フードロスなどについて、じちてき かつどう<br/>         自治的な活動と<br/>         かんれんづ がっこうぜんたい と く<br/>         関連付けながら、学校全体で取り組んでみてはい<br/>         かがでしょうか。</p>   |
| <p>さっぽろ どくしょ<br/>         札幌を「読書」のまちにするために、<br/>         しな い がっこうたいこう どくしょりょう きそ<br/>         市内の学校対抗で読書量を競うな<br/>         ど、どくしょ<br/>         読書をしたいとみんながおも<br/>         う</p> | <p>がっこうとしよかん よ き かつどうとう<br/>         学校図書館ボランティアや読み聞かせ活動等、<br/>         がっこう<br/>         学校だけではなく、ほごしゃ ちいき かなたとう きょうりよく<br/>         保護者や地域の方等に協力<br/>         をいただきながら、こ 子どものどくしょ かつどう ささ<br/>         えられ</p>   |

|   |   |
|---|---|
| <p>活動<small>かつどう</small>をするといひ。</p>   | <p>ています。また、「札幌＝読書<small>どくしょ</small>の街<small>まち</small>」にする提案<small>ていあん</small>、素晴らしいと思ひます。まずは、パートナー校<small>こう</small>や近隣<small>きん</small>の学校等<small>がっこうとう</small>、身近<small>みぢか</small>なところで、様々な企画<small>さまざま</small>を出し合ひ<small>きかく</small>、検討<small>けんとう</small>して取り組むことができるかもしれませんで、ぜひ、先生<small>せんせい</small>や生徒会等<small>せいとくかいとう</small>に相談<small>そうだん</small>してみてください。自治的<small>じちてき</small>な活動<small>かつどう</small>につながるものとして大いに期待<small>おおい</small>しています。</p>   |
| <p>教室<small>きょうしつ</small>にも本<small>ほん</small>を置いてほしい。</p>   | <p>例えば、学校図書館<small>がっこうとしょかん</small>にある本<small>ほん</small>を教室<small>きょうしつ</small>に置いたり、学校PTA<small>がっこう</small>と連携<small>れんけい</small>しながら整備<small>せいび</small>を充実<small>じゅうじつ</small>している学校<small>がっこう</small>もあります。どのような本<small>ほん</small>を充実<small>じゅうじつ</small>していきたいのかも含めて、ぜひ、学校<small>がっこう</small>に意見<small>いけん</small>として届けて、一緒に<small>いっしょ</small>考えてみてはいかがでしょうか。</p>  |
| <p>読むだけではなく、自分<small>じぶん</small>で文章<small>ぶんしょう</small>を書く時間<small>か</small>を設けることで、表現力<small>ひょうげんりょく</small>が向上<small>こうじょう</small>すると思ひ。</p> | <p>とても重要な考<small>かんが</small>えだと思ひます。札幌市<small>さっぽろし</small>でも、読書<small>どくしょ</small>によって言葉<small>ことば</small>を学び、感性<small>かんせい</small>を磨き、表現力<small>ひょうげんりょく</small>を高め、想像力<small>そうぞうりょく</small>を豊かにしたり、知的好奇心<small>ちてきこうきしん</small>をふくらませたりすることを大切<small>たいせつ</small>にしてほしいと思ひます。読書<small>どくしょ</small>によって得た知識<small>え</small>を生かして発信<small>ちしき</small>したり、感じたことを書きとめて友達<small>ともだち</small>と交流<small>こうりゅう</small>したりするなど、読書<small>どくしょ</small>に関わる様々な活動<small>かつどう</small>が考<small>かんが</small>えられます。今後も、各学校<small>こんご</small>において表現力<small>ひょうげんりょく</small>や想像力<small>そうぞうりょく</small>が高まる活動<small>かつどう</small>を工夫<small>くふう</small>していきますので、ぜひ学校<small>がっこう</small>の先生<small>せんせい</small>にもこのような思ひや願ひを伝えてほしいと思ひます。</p> |
| <p>日本<small>にほん</small>の文化<small>ぶんか</small>や行事<small>ぎょうじ</small>を通し、日本<small>にほん</small>のよさを学びたい。</p>   | <p>自国<small>じこく</small>の伝統<small>でんとう</small>と文化<small>ぶんか</small>を大切<small>たいせつ</small>にする姿勢<small>しせい</small>を養<small>やしな</small>うことはとても大切なこと<small>たいせつ</small>です。札幌市<small>さっぽろし</small>でも、国際交流<small>こくさいこうりゅう</small>の機会<small>きかい</small>の提供<small>ていきょう</small>を行っていますので、機会<small>きかい</small>があればぜひ参加<small>さんか</small>してほしいと思ひます。</p>  |
| <p>施策2-2 家庭・地域<small>かてい ちいき</small>の教育力向上<small>きょういくりょくこうじょう</small>を支援する取組<small>しえん とりくみ</small>の推進<small>すいしん</small></p>                  |   |
| <p>給食<small>きゅうしょく</small>を美味しくしてほしい。</p>   | <p>給食<small>きゅうしょく</small>のだしやスープは昆布<small>こんぶ</small>、カツオ、鶏ガラ<small>とり</small>、豚骨<small>とんこつ</small>を使用<small>しよう</small>するなど、食品添加物<small>しょくひんてんかぶつ</small>を使わないようにしています。また地産地消<small>ちさんちしょう</small>を心がけ地元<small>じもと</small>の新鮮<small>しんせん</small>な食材<small>じしょくざい</small>を使用<small>しよう</small>しています。食材<small>じしょくざい</small>の力を活かせるよう美味しい給食<small>きゅうしょく</small>づくりに努めていきます。</p>   |
| <p>給食メニューのバリエーションを増<small>ふ</small></p>   | <p>給食<small>きゅうしょく</small>を通して栄養<small>えいよう</small>バランスだけでなく、行事<small>ぎょうじ</small>や</p>   |

|  |  |
|--|--|
| <p>やしてほしい。</p>   | <p>食文化、地産地消等について学ぶことから、新しい料理も考案しながら、今後も食育に努めていきます。</p>   |
| <p>給食を選択式・バイキング形式に<br/>してほしい。<br/>(同意見3件)</p>  | <p>学校給食は、成長期の児童生徒に必要な栄養素がとれるよう様々な食材を使用して献立を立てており、日常的な選択式やバイキング形式での提供は想定していません。皆さんの食経験が豊かになるよう、引き続き、様々な食材を経験できる場として学校給食を提供していきます。</p>   |
| <p>給食ではなく、お弁当の日を増や<br/>してほしい。</p>  | <p>学校給食は、成長期の児童生徒に必要な栄養素がとれるよう献立を立てています。また、給食をとおして栄養バランスや地産地消、食文化等を学ぶ機会としているため、食を学ぶ大切な機会ととらえています。今後も給食への理解が深まるよう食育を進めていきます。</p>  |
| <p>牛乳が飲めない子どものために、<br/>お茶など、牛乳以外の飲み物を<br/>用意してほしい。<br/>(同意見1件)</p>   | <p>食物アレルギーや病気等で牛乳が飲めない場合は家庭から代替りのものの持参をお願いしていますので、ご理解ください。</p>   |
| <p>施策2-3 多様な地域資源を活用した豊かな学びや子どもの成長を支える取組の推進</p>   |  |
| <p>学校での勉強だけではなく、地域<br/>の方たちとのコミュニケーションや<br/>人間関係の築き方を勉強したりす<br/>る時間があるといい。<br/>地域連携が足りない気がするので<br/>地域のひととの交流を増やしたい。<br/>(同意見3件／類似意見7件)</p> | <p>学校と地域の方々が協力することにより、教育活動の幅が広がり、体験活動の充実等につながると考えています。また、児童生徒の皆さんが積極的に地域のボランティア活動に参加することで、学校と地域とのつながりが深まる面もあります。現在、学校と地域が力を合わせて、多様な学びを実現する仕組みをつくろうと考えています。その仕組みをうまく活用すれば、実現できる方法があるかもしれませんので、いただいた意見を参考にしたいと思います。また、皆さんからもその思いを学校に届けてみてください。</p> |
| <p>部活動がより効果的な活動となる<br/>よう、学校の先生と地域の方々が<br/>協力して様々な視点から指導して</p>   | <p>外部指導者を配置している部活動では、部活動の顧問の先生と外部指導者が連携、協力しながら活動することとしています。</p>  |

|  |   |
|--|---|
| <p>ほしい。<br/> <small>どういけん けん</small><br/> (同意見1件)</p>  |   |
| <p>学校の先生の負担軽減のため、部活動の顧問は地域の方に協力していただくといい。<br/> <small>どういけん けん</small><br/> (同意見1件)</p>                                      | <p>指導内容の充実や先生方の負担の軽減に向けて、専門的な指導ができる地域の方々に部活動を担ってもらい外部人材活用の取組を進めていきます。</p>   |
| <p>部活動は、専門的な人に指導してもらっただけでなく、大学生と交流を深める取組になるといい。</p>  | <p>部活動に外部人材を活用する取組の一環として、大学生の活用に向けて地域の大学と連携を進めていく予定です。</p>  |
| <p>部活動の外部人材の活用には良い点もあるが、部活動が先生と生徒の関係性を深める面もあることに留意してほしい。</p>   | <p>部活動には、生徒同士や、生徒と先生との好ましい人間関係の構築のほか、学ぶ意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感を育てることに役立つなど、様々な役割があります。これまで部活動が果たしてきたこれらの大事な役割が損なわれることがないように配慮しながら、外部人材の活用を進めていきます。</p>  |
| <p>部活動は、クラブチームとは異なり、専門的な指導により専門性を高めるのではなく、活動を楽しみたい、体力をつけたいなど、幅広い活動ができる場にしてほしい。<br/> <small>どういけん けん</small><br/> (同意見2件)</p> | <p>部活動の意義は、スポーツや文化・芸術活動に親しみながら、様々な学年の生徒との交流の中で、生徒同士や教員と生徒との間で良好な人間関係の構築を図ることにあります。専門的な指導により技能等の向上や大会等での好成績を目指すことも大事な目的の1つですが、そのほかにも、気軽に友達とレクリエーション的な活動を楽しめる、適度な頻度で行える、様々な競技・種目を体験できるなど、生徒の多様なニーズに応じた活動ができる場の整備に向けた取組を進めていきます。</p> |
| <p>全学校に広げることができないなら、学校間で差が出てしまうため部活動の外部人材の活用はやめてほしい。</p>   | <p>学校や生徒のニーズに応じてより多くの学校に部活動指導員等の専門的な指導者を配置できるよう、外部人材の更なる活用に向けた取組を進めていきます。</p>   |
| <p>2-4 <small>しょうがい まな まな せいか い きかい じゅうじつ</small><br/> 生涯にわたり学び、学んだ成果を生かすことができる機会の充実</p>                                     |   |
| <p>学校や地域の施設などにおける、講演会や勉強会を増やしてほしい。</p>   | <p>札幌市生涯学習センターが開設している札幌市民カレッジでは、生涯学習センターのほか、区民センターや地区センター、図書館においても</p>  |

|  |  |
|--|--|
|  | さまざま こうざ じっし こんご みちか<br>様々な講座を実施しています。今後も、身近な<br>ちいき ちいき ちいき まな きかい かくじゅう と く<br>地域における学びの機会の拡充に取り組んでい<br>きます。 |
|--|--|

基本的方向性3

|                  |  |
|------------------|--|
| みな いけん<br>皆さんの意見 | さつぽろしきょういくいいんかい かんが かつ<br>札幌市教育委員会の考え方 |
|------------------|--|

施策3-1 安全・安心な教育環境の整備

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| ひなんくんれん ぶん<br>避難訓練を増やしてほしい。 | がっこう じどうせいと みな みずか じょうきょう あ<br>学校では、児童生徒の皆さんに「自ら状況に合<br>った判断をして、身の安全を確保するためにすす<br>んで行動することができる力」を育むことを目標<br>として、避難訓練の内容や回数、行う時期を決め<br>ています。いつ起こるか分からない災害に備える<br>ためには、自分が暮らしている地域で、どのような<br>危険が起こり得るのかを想像しながら、日頃から<br>安全な行動の仕方を身に付けておくことが大切です。<br>学校の避難訓練も様々な災害の発生を想定し<br>て、いざという時に必要となる判断力や行動力を<br>しっかりと身に付けることができるよう、実施方法<br>を工夫していきます。 |
| エレベーターを設置してほしい。<br>(同意見9件)  | すべ こ あんしん まな かんきょう<br>全ての子どもが安心して学ぶことができる環境<br>の整備は重要だと考えており、エレベーターにつ<br>いては、学校の建替えやリニューアル改修時のほ<br>か、個別の必要性に応じて整備を進めていきま<br>す。   |
| 各学校の子どもの人数を同じにし<br>たほうがいい。  | よりよい教育環境という点において、各学校の<br>児童生徒数は重要であり、適切な学級数になる<br>ように学校の規模を調整する取組を進めていま<br>す。なお、通学区域の変更は、通学距離や地域のつ<br>ながり、大きな道路の位置、自然環境など様々な<br>ことを考えて慎重に判断する必要があり、今後<br>も様々なご意見に耳を傾けながら検討していき<br>ます。  |

|  |  |
|--|--|
| <p>老朽化している教室を整備してほしい。<br/>(同意見2件)</p> <p>体育館の床が滑りやすいので対策してほしい。<br/>(類似意見3件)</p>      | <p>よりよい教育環境を整備することは重要だと考えており、学校の建替えのほか、老朽化の状況に応じて、必要な整備を進めていきます。</p> <p>学級数の増加などの理由で教室が足りない場合には、内部の改修や校舎の増築等の整備を検討していきます。</p>  |
| <p>トイレの環境を改善してほしい。<br/>洋式トイレにしてほしい。<br/>トイレの便座を温かくしてほしい。<br/>(同意見2件)</p>             | <p>トイレの洋式化については、各学校の児童生徒数に対して必要な便器数を整備していますが、状況に応じて個別に対応を検討していきます。</p> <p>なお、今後整備するバリアフリートイレについては、温かい便座を標準整備していきます。</p>  |
| <p>エアコンを全教室に設置してほしい。<br/>(同意見20件)</p> <p>エアコンを早く設置してほしい。<br/>(類似意見38件)</p>           | <p>夏季期間においても安全かつ快適に学ぶことができる環境の確保は重要だと考えており、令和9年度までに市立幼稚園・学校の普通教室等に壁掛けエアコンを整備していきます。</p> <p>なお、普通教室等への壁掛けエアコン整備は、電気設備の改修など大掛かりな工事が必要があり、全校整備には相当の時間がかかることから、緊急的な対応として令和6年夏に間に合うよう保健室にエアコンを整備するほか、普通教室やとくべつしえんがくしゅうしつ  이동식 에어컨을 도입합니다。</p> |
| <p>教室のエアコンがエアコンの役割を果たしていない。<br/>(同意見8件)</p>  | <p>夏季期間においても安全かつ快適に学ぶことができる環境の確保は重要だと考えており、令和9年度までに市立幼稚園・学校の普通教室等に面積に応じた冷房能力を有するエアコンを整備していきます。</p>   |
| <p>教室だけではなく、廊下なども涼しくなるようにしてほしい。<br/>(同意見1件)</p> <p>体育館にエアコンを設置してほしい。<br/>(同意見1件)</p> | <p>夏季期間においても安全かつ快適に学ぶことができる環境の確保するため、令和9年度までに市立幼稚園・学校にエアコンを整備していきますが、可能な限り速やかに整備を完了するため、常時使用する普通教室等から優先的に進めていきます。</p> <p>体育館をはじめとした、このほかの整備については、今後検討していきます。</p>   |

|   |  |
|---|--|
| <p>エアコンよりも空気清浄機を整備したり、エアコンだけでなく加湿器もよいものを導入してほしい。<br/>(類似意見1件)</p>             | <p>よりよい教育環境を整備することは重要だと考えており、今後も、学校施設の整備内容について、様々なご意見に耳を傾けながら検討していきます。</p>   |
| <p>エアコンは地球温暖化につながるため必要ないと思う。<br/>(同意見1件)</p>                                  | <p>夏季期間においても安全かつ快適に学ぶことができる環境を確保することを目的に令和9年度までに市立幼稚園・学校の普通教室等にエアコンを整備していきます。<br/>また、環境への配慮は重要だと考えており、省エネ対策として照明器具のLED化を進めるなど脱炭素社会の実現に向けた取組を進めていきます。</p>   |
| <p>校内がきちんと暖まる暖房を設置してほしい。<br/>(同意見1件)</p>                                      | <p>学校の暖房については、教室の室温を22℃程度に設定できる設備を整備していますが、よりよい教育環境を整備することは重要だと考えており、今後も、学校施設の整備内容について、様々なご意見に耳を傾けながら検討していきます。</p>   |
| <p>エアコン設置に時間がかかるなら、体育の授業をそれまでの期間はなしにするなど、それまでの対応策をきちんとしてほしい。<br/>(同意見1件)</p>  | <p>各学校では、皆さんの健康・安全と、学びの充実を図ることを考えながら、学習計画を立て、授業を実施しています。各教科で1年間に行う授業時数が決められているため、体育の授業も計画的に進めていく必要があります。今後も、札幌市では、皆さんの健康と安全を第一に考え、安心して学習に取り組むための工夫について検討を続けていきます。</p>  |
| <p>施策3-2 教育DXの推進に向けた教育環境の整備</p>   |  |
| <p>Chromebookを使った授業を増やしてほしい。また、タイピング練習などができる環境があるといい。<br/>(同意見19件／類似意見7件)</p> | <p>ひとりいちだいたんまつがくしゅうどうぐひとこうかてき<br/>1人1台端末を学習道具の一つとして効果的に活用し、学習のねらいが達成できるような授業とすることが大切です。そのためにはどうしたらよいか、先生と一緒に考えてほしいと思います。<br/>また、インターネット上にはタイピング練習用のwebサイトがたくさんあり、Chromebookから使用できるものも多くありますので、自分に合ったものを選択して活用してみてください。</p> |



|   |  |
|---|--|
| <p>ICT を活用した授業を取り入れることも大事だが、自分で鉛筆で書くことも大事にしたほうがいい。</p>  | <p>紙を用いた学習と端末を用いた学習のどちらもそれぞれによさがあり、それらを適切に組み合わせることで学習効果を高めていくことができます。まずはそれぞれのよさについて考え、それぞれの学習内容に合わせた効果的な方法を見つけたいと思います。</p>   |
| <p>電子機器等を使った勉強を減らして、紙を使った勉強に変えたほうがいい。</p> <p>理由としては以下の4点。</p> <p>①パソコンや電子機器で勉強をすると頭に入らない。</p> <p>②デジタル機器により子どもの視力が低下していると聞く。</p> <p>③授業中に生徒がタブレットの操作に手間取り、授業が止まったり、タブレットを起動をさせるのに時間がかかったりして授業時間が削られている。</p> <p>④電気を使うことで地球温暖化を加速させることにつながる。</p> <p>(同意見1件／類似意見2件)</p> | <p>紙を用いた学習と端末を用いた学習のそれぞれによさがあり、それらを適切に組み合わせることで学習効果を高めていくことができます。まずはそれぞれのよさについて考え、学習内容に合わせた効果的な方法を見つけたいと思います。</p> <p>一方で、デジタル機器の長時間の継続使用を控える等の健康面への配慮や、使用しない時には端末の電源を切っておく等の環境への配慮も必要ということについては、そのとおりだと思います。</p> <p>情報化社会において、端末を有効に活用できる能力を高めていくことは、多様な学びを可能としたり、生活を豊かにしたりします。端末を積極的に活用していくことで、その操作等もスムーズになっていくと思います。</p> |
| <p>リモート授業を定期的(週1回程度)行ってほしい。</p> <p>(同意見2件、類似意見9件)</p>   | <p>ICT を活用して、学校と家庭をつなぐことは、時間的・空間的な制約を超えることができ、学校に通うことができない場合の学びを支えるための有効な手だての一つだと考えられます。</p> <p>一方で、学校に通うことは、他者との関わりの中で学んだり、実体験を通して学んだりするよさがありますので、学校での学びの全てが ICT 活用で実現できるわけではありません。</p> <p>今後も ICT を有効に活用しながら、学校ならではの学びを充実していきたいと考えています。</p>  |
| <p>分からないところを発言しやすいように、端末を用いた授業にしてほしい。</p>   | <p>端末を用いることで、自分の考えを発信したり、他の人の考えを共有したりしやすくなるなどのよい点もありますが、その一方で、自分の思いや</p>   |

|   |   |
|---|---|
| <p>るいじいけん けん<br/>(類似意見1件)</p>   | <p>かんが せいかく つた むずか<br/>考えが正確に伝わるようにすることの難しさも<br/>あります。今後は、端末を用いる場面と用いない<br/>場面を適切に判断しながら、学習効果を高めてい<br/>くことが大切と考えています。</p>   |
| <p>がっこう じゆぎょう とうこう<br/>学校の授業で、スクラッチを投稿で<br/>できるようにしてほしい。</p>                                      | <p>じぶん さくせい じつこうけつか<br/>自分が作成したプログラムやその実行結果につい<br/>て、他の人から感想や意見をもらうことは大切な<br/>ことです。しかし、web 上に投稿する場合は、<br/>見知らぬ人とつながることで、トラブルに巻き込<br/>まれる心配も生じます。まずは、先生や友達に<br/>感想をもらってみてはいかがでしょうか。</p>                          |
| <p>もっと性能の良い新しいパソコン<br/>がほしい。<br/>Chromebook は重いので、軽量<br/>の iPad などに変えてほしい。<br/>(同意見5件／類似意見2件)</p> | <p>ひとりいちだいたんまつ ねんていとしょう そうてい<br/>1人1台端末は5年程度使用することを想定して<br/>います。端末の更新の際には、国が定める基準を<br/>参考に新しい端末を整備します。<br/>端末がより軽い方が使いやすいという意見も、<br/>次回機器選定の参考にします。</p>   |
| <p>がっこう パソコンで YouTube を使<br/>えるようにしてほしい。</p>  | <p>じどうせいとう ひどりいちだいたんまつ<br/>児童生徒用の1人1台端末では、セキュリティの<br/>観点から YouTube が閲覧できないようになっ<br/>ていますが、NHK for school の学習動画・番組<br/>(約10,000本)を閲覧し学習することが可能と<br/>なっています。</p>  |
| <p>しさく こ ひとりひとり まな きょうしよくいん ししつこうじょう しどうたいせい こうちく<br/>施策3-3 子ども一人一人の学びを支える教職員の資質向上と指導体制の構築</p>    |   |
| <p>せんせいがた しどうりよく こうじょう<br/>先生方の指導力を向上してほしい。<br/>(同意見1件)</p>                                       | <p>さっぽろし かだいたんきゆうてき がくしゅう と い<br/>札幌市では、課題探究的な学習を取り入れた<br/>授業づくりを進めており、子ども自身が疑問や<br/>課題をもち、粘り強く学習に取り組む姿勢を大切<br/>にしております。<br/>今後は、先生方の研修等を通じて、子どもたちの<br/>「学びたい」や「解決したい」の声を適切に受け止<br/>められるよう、先生方の指導力の向上に努めます。</p> |
| <p>ことば ぼうりよく せんせい しどう<br/>言葉の暴力をする先生の指導をし<br/>てほしい。</p>   | <p>せんせい はつけん い す かん せんせい はつけん<br/>先生の発言が行き過ぎていると感じたり、発言に<br/>よって傷ついたりするようなことがあれば、改善<br/>されるように、一人で抱え込まずに、すぐに周囲の<br/>先生や家族などの大人に相談してみてください。<br/>どんな悩みでも周囲に相談することで、解決に向</p>                                       |

|  |  |
|--|--|
|  | <p>みち ひら おも<br/>けた道が開かれると思います。</p>   |
| <p>がっきゅう こ にんずう すこ へ<br/>学級の子どもの人数をもう少し減<br/>らしても良いと思う。<br/>(どういけん けん<br/>同意見3件)</p> | <p>がっきゅう にんずう くに さだ ほうりつ もと<br/>1学級あたりの人数は、国が定めた法律に基づい<br/>て決めていることから、その改善については引き<br/>つづ くに ようぼう<br/>続き国に要望していきます。</p>   |
| <p>しさく<br/>施策3-4 豊かな生活につながる学びの環境の充実</p>  |  |
| <p>としょかん ほん ぶん<br/>図書館の本を増やしてほしい。<br/>(どういけん けん<br/>同意見7件)</p>                       | <p>さっぽろし としょかん かぎ よさん ほん<br/>札幌市の図書館では限られた予算のなかで本を<br/>こうにゆう してありますが、きそくほん かつよう<br/>購入しておりますが、寄贈本を活用するなどして<br/>ようぼう こた くに<br/>要望に応えられるよう工夫していきます。</p>  |
| <p>いろいろ くに ことば まな<br/>色々な国の言葉を学ぶことができ<br/>る本がほしい。</p>                                | <p>まずは、がっこうとしょかん ほん さが<br/>学校図書館にある本を探していただき、<br/>み つかからない ばあい せんせい としよ<br/>見つからない場合は、先生や図書ボランティアの<br/>みな そうだん さっぽろ<br/>皆さんに相談してみてください。また、札幌には、<br/>としよ しせつ でんしとしょかんとう<br/>図書のある施設や、電子図書館等もありますの<br/>で、いつもと違う図書資料に出会い、視野を広げ<br/>る機会として、ぜひ、りよう してみてもいいか<br/>うか。</p> |
| <p>としょかん でんししよせき よ<br/>図書館で電子書籍を読めるように<br/>してほしい。</p>                                | <p>ちゅうおうとしょかん かい でんししよせき よ<br/>中央図書館1階では、電子書籍を読むためのタブ<br/>レットが用意されております。また、ちゅうおうとしょかん<br/>ようい ちゅうおうとしょかん<br/>2階では、ご自身で持参したパソコン等でも Wi-Fi<br/>かい じしん じさん とう<br/>を利用して電子書籍を読むことができますので、<br/>ぜひりよう してください。</p>   |

その他(計画全般に関わることなど)

| みなさんの意見   | 札幌市教育委員会の考え方   |
|---|--|
| <p>がっこう すず かた ほうこうせい みなお<br/>学校の進め方や方向性を見直した<br/>ほうがいい。</p> | <p>さっぽろしきょういくいいんかい かんが かつ<br/>札幌市教育振興基本計画は、札幌市の教育を<br/>すいしん けいかく がっこうきょういく すいしん<br/>推進するための計画であり、学校教育の推進の<br/>ほうしん にもなっています。この計画を基に、か<br/>方針にもなっています。この計画を基に、各<br/>がっこう とうくしよく い きょういくかつどう<br/>学校では、それぞれの特色を生かしながら、教育活動<br/>をおこな っています。「学校の進め方や方向性を見直<br/>したほうがいい。」というのは、どのような理由か<br/>らなのでしょう。児童生徒の皆さんが、がっこう<br/>りに参画していくことはとても大切なことです。ぜ<br/>ひがっこう せんせい なかま おも ねが<br/>ひ学校の先生や仲間にも、このような思いや願い</p> |

|   |   |
|---|---|
|   | <p>を伝えてほしいと思います。教育委員会に相談いただいても構いません。</p>  |
| <p>欠席して授業を受けることができなかつたときや見直したりできるように授業を録画してほしい。<br/>(同意見1件)</p> | <p>授業を録画することは、学習を振り返ったり、授業に参加できなかった人の学びを支えたりするための手だての一つになると考えられます。その一方で、録画された授業を見るだけでは、なかなか学習の効果を上げることが難しいという側面もあります。また、著作権や肖像権の関係から、インターネット上で見るができるようにするためには、一定の制約もあります。授業を録画すること以外にも、学習を充実させるための方法はないか、考えてみてください。</p> |
| <p>3週間に1回程度お楽しみ会的なイベントがほしい。</p>                                 | <p>様々な人と楽しみながら交流をしていくようなイベントは学校から与えられるだけではなく、自分たちで創り出していくこともできます。自治的な活動として、委員会活動等を通して仲間と一緒に考え、具体的な理由も添えて、学校に提案してみてくださいはいかがでしょうか。皆さんの自治的な活動に期待しています。</p>   |
| <p>夏休みや冬休みをゆっくり過ごすため、長期休暇の宿題をなくしてほしい。<br/>(類似意見1件)</p>          | <p>長期休業期間は、それまでの学びを振り返ったり、普段できないことにじっくり取り組んだり、次の学びに向けて力を蓄えたりすることが可能です。充実した期間とするためには、宿題があった方がいいのか、ない方がいいのかについては、今後も皆さんとともに考えていきたいと思っています。</p>  |
| <p>中学生と一緒に勉強する機会がほしい。<br/>(同意見2件／類似意見1件)</p>                    | <p>札幌市では、小学校と中学校のつながりを意識した教育活動を大切にしています。いろいろな学年の児童と生徒が交流しながら学習を進めることは、お互いに理解が深まり、よりよい人間関係を築く上で大切な機会となります。学校の先生にも相談してみるとよいと思います。</p>   |
| <p>幼稚園や保育園の人と一緒に活動したい。</p>                                      | <p>札幌市では、幼稚園・保育園と小学校とのつながりを意識した教育活動を大切にしています。小学校でも、園児が学習発表会を見学したり、1</p>   |

|  |  |
|--|--|
|  | <p>にちたいけんじゆぎょう う おも<br/>     日体験授業を受けたりすることはあると思いま<br/>     す。幼いお子さんでも、安心して小学生と一緒に<br/>     かつどう ないよう かんが がっこう せんせい<br/>     活動できる内容について考え、学校の先生にも<br/>     そうだん おも<br/>     相談してみるとよいと思います。</p>   |
| <p>なつ ふゆやす<br/>     夏、冬休みをもっと増やしてほしい。<br/>     どういけん けん るいじいけん けん<br/>     (同意見6件／類似意見3件)</p>  | <p>さっぽろし みな けんこう あんぜん まな じゅうじつ<br/>     札幌市では、皆さんの健康・安全と、学びの充実<br/>     を図ることを考えて、なつ ふゆやす あ<br/>     を合わせて 50<br/>     にちかん こんご ちようききゅうぎょう あ<br/>     日間と決めています。今後、この長期休業の在り<br/>     方については、じどうせいと みな こえ と い<br/>     方については、児童生徒の皆さんの声も取り入れ<br/>     たいと考えており、そのきかい や ば も う<br/>     たいと考えており、その機会や場を設けていく<br/>     よてい さい ふ りゆうとう<br/>     予定です。その際には、増やしてほしい理由等につ<br/>     いて、くたいてき おし おも<br/>     具体的に教えていただきたいと思ひます。</p>   |
| <p>なかやす じかん ふ<br/>     中休みの時間を増やしてほしい。<br/>     どういけん けん るいじいけん けん<br/>     (同意見1件／類似意見4件)</p> | <p>かくがっこう ねんかん き じゆぎょうじすう<br/>     各学校では、年間で決められている授業時数や、<br/>     ほうかご かつどうじかん げこうじかんと う はいりよ<br/>     放課後の活動時間、下校時間等についても配慮し<br/>     ながら日課を決めています。なぜ増やしてほしい<br/>     のか、くたいてき りゆう ふく みな いけん<br/>     のか、具体的な理由も含めた皆さんの意見を、<br/>     がっこう つた たいせつ おも<br/>     学校に伝えることは大切なことだと思ひます。</p>  |
| <p>しゅうかん かい かい そと あそ<br/>     1週間に1回か2回くらい、外で遊<br/>     ぶ取組をした方がいい。</p>                        | <p>けんこう からだ おくがい かつどう たいせつ<br/>     健康な体づくりのため、屋外での活動は大切で<br/>     す。さまざま かんが ひと がっこう じょうきょう ふ おお<br/>     様々な考えの人や学校の状況を踏まえ、多<br/>     くのひと さんか さんか さんか さんか さんか<br/>     の人が参加できるような取組について、各学校<br/>     でかんが かんが かんが かんが かんが<br/>     考えていますが、皆さん自身も考えたことを<br/>     せんせい つた せんせい じちてき かつどう<br/>     先生に伝えてみてください。また、自治的な活動<br/>     とかんれんづ とく かんが<br/>     と関連付けながら取り組んでいくことも考えられ<br/>     ます。</p>  |
| <p>がっきゅう なや そうだん かがり<br/>     学級で、悩みなどを相談できる係<br/>     を作りたい。</p>                              | <p>がっきゅうない ささ はげ あ あたに じんげんかんけい<br/>     学級内で支え励まし合う温かい人間関係をつく<br/>     っていくことがたいせつ かんが<br/>     大切なことと考えています。そのよう<br/>     ながっこう め ざ すべ こ こえ しゅうやく<br/>     な学校づくりを目指し、全ての子どもを集約<br/>     してつくられたのが、さっぽろっ子宣言「プラスの<br/>     まほう」です。こんご せんげん もと じちてき<br/>     今後もこの宣言に基づき自治的な<br/>     かつどう おうえん がっこう ていあん<br/>     活動を応援していきますので、ぜひ、学校に提案し<br/>     てみてください。また、ともだち そうだん う<br/>     友達から相談を受けたとき<br/>     に、ひとり かが じぶんじしん なや か<br/>     に、一人で抱えてしまい、自分自身の悩みに変わ<br/>     ることもあるので、おとな いっしょ かんが<br/>     大人と一緒に考えることも<br/>     たいせつ<br/>     大切です。</p> |

|  |  |
|--|--|
| <p>教科ごとの持ち物が多かったり重<br/>     かったりすることがとても負担なの<br/>     で、学校に置いてもいいものの幅を<br/>     広げてほしい。<br/>     (同意見2件)</p> | <p>学びを充実させるためには、学校でも家庭でも、<br/>     手元に学習用具があることが重要と考<br/>     えていますが、持ち運びが過重な負担<br/>     とならないよう配慮することも大切と<br/>     考え、学校とともに様々な取組を進<br/>     めてきたところです。<br/>     この問題を解決するためには、児童生<br/>     徒の皆さんが、必要な持ち物は何か<br/>     、何を持ち帰り、何を置いていくのか<br/>     などについて、自ら考えることも欠か<br/>     せません。今一度、不要な持ち運びを<br/>     していないか振り返ってほしいと思<br/>     います。</p> |
| <p>中学校への自転車通学を許可して<br/>     ほしい。<br/>     (同意見9件)</p>  | <p>札幌市の中学校の通学距離は3kmを標<br/>     準として区域が設けられており、徒<br/>     歩通学を基本としています。安全面を<br/>     考えたときに、自転車は車道通行が<br/>     基本であること、暗くなってからの利<br/>     用など課題が多くありますので、今<br/>     の段階では自転車通学を許可するこ<br/>     とはできません。</p>  |
| <p>スクールバスで通学したい。<br/>     (同意見5件)</p>  | <p>札幌市の小中学校への通学については<br/>     、徒歩による通学を基本とし、徒歩<br/>     通学の目安は、小学校校区はおおむ<br/>     ね2km以内、中学校はおおむね3km<br/>     以内としています。<br/>     通学距離が上記を超える場合は、公<br/>     共交通機関を活用した通学を原則と<br/>     し、公共交通機関による通学が困難<br/>     と教育委員会が認める地域において<br/>     は、スクールバス等その他の手段を検<br/>     討することとしています。</p>   |
| <p>学校へのスマートフォンの持ち込<br/>     み、使用を許可してほしい。<br/>     (同意見5件)</p>   | <p>スマートフォンなどは、学校生活の中<br/>     で直接必要のないものであるため、<br/>     学校では、児童生徒が校内に持ち込<br/>     むことを原則禁止としています。た<br/>     だ、個人的な事情に応じて持ち込み<br/>     が認められる場合もありますので、<br/>     学校に相談してみるとよいと思<br/>     います。皆さんが、SNS等のネット<br/>     トラブルに巻き込まれることも多い<br/>     ので、インターネットの安全な使い<br/>     方やマナーを守ることについて、互<br/>     いに声を掛け合って正しく利用し<br/>     てほしいと思</p>       |

|   |   |
|---|---|
| <p>がっきゅうない せいそう せいと<br/> 学級内の清掃は生徒ではなく<br/> せいそういん<br/> 清掃員にやってほしい。</p>     | <p>せいそう どうばんかつどう かかりかつどうとう じぶん<br/> 清掃などの当番活動や係活動等では、自分の<br/> やくわり じかく きょうどう いぎ りかい<br/> 役割を自覚して協働することの意義を理解する<br/> など、しゃかいさんかく いしき はたら いぎ<br/> 社会参画の意識や働くことの意義について<br/> まな じかん こ せいそう<br/> 学ぶ時間でもあります。また、子どもが清掃がで<br/> きないようばしょ よういん おとな せいそう<br/> きないよう場所は用務員さんなどの大人が清掃・<br/> せいび かんきょうづくり さまざま<br/> 整備してくれています。よりよい環境づくりや様々<br/> な活動の意義をかんが かんが かつどう<br/> かっどう いぎ かんが かんが かつどう<br/> ながら、どのような活動が<br/> じゅうよう じちてき かつどう かんれんづ<br/> 重要なのか、自治的な活動と関連付けながら、<br/> なかも いっしょ はな あ<br/> 仲間と一緒に話し合ってみてはいかがでしょうか。<br/> か。</p> |
| <p>こうそく へ<br/> 校則を減らしてほしい。<br/> どういけん けん るいじいけん けん<br/> (同意見43件／類似意見6件)</p> | <p>がっこう ちいき じどうせいと じつたい あ<br/> 学校では、地域や児童生徒の実態に合わせて、<br/> せいかつ さだ ないよう<br/> 生活のきまりを定めています。その内容について<br/> ぎもん おも さだ<br/> 疑問に思うことがあれば、きまりが定められてい<br/> りゆう かんが うえ<br/> る理由をかんが かんが<br/> えてみてください。その上で、きまり<br/> か ひつよう おも とき ともだち<br/> を変える必要があると思った時には、友達にも<br/> いけん き あら ていあん かいぜん<br/> 意見を聞くなどして、新たなきまりを提案し、改善<br/> することもできると思ひます。そのようなとりくみ<br/> ほうほう せんせいがた そうだん<br/> 方法については、先生方に相談してみてください。<br/> じぶん て かんきょう つく<br/> 自分たちの手でよりよい環境を作っていく<br/> きも たいせつ<br/> 気持ちをこれからも大切にしてください。</p>                                   |
| <p>いっせい<br/> 一斉テストをなくしてほしい。<br/> どういけん けん<br/> (同意見4件)</p>                  | <p>まな じゅうじつ みずか まな ふ<br/> 学びを充実させるためには、自らの学びを振り<br/> かえ かいぜん ちょうせい か<br/> 返し、改善したり調整したりすることは欠かせな<br/> かんが て いっせい<br/> いと 考えています。その手だてとして、一斉テス<br/> おこな ていどゆうこう かんが<br/> トを行うことは、ある程度有効だと考えられます<br/> かなら さいてき ほうほう<br/> が、必ずしも最適な方法でないかもしれません。<br/> かんが あわ<br/> それをなくしてほしいと考えるのであれば、併せ<br/> か ほうほう ていあん<br/> て、それに代わる方法を提案するなど、なくしてど<br/> かんが たいせつ<br/> うするかも考えることが大切です。</p>   |

|  |  |
|--|--|
| <p>人の集中できる時間に合わせた授業時間として15分で休憩を取る進め方をしてほしい。</p>  | <p>人の集中できる時間については、その物事に、いかに主体的に取り組むかで変わって来るとも言われています。現在、札幌市では、子ども一人一人の主体性を大切にしながら多様な学びの実現を目指し、様々な工夫しているところですが、授業時間については、小学校は45分、中学校は50分を標準とすると定められています。その時間集中して取り組めるよう、皆さんにも、これまで以上に、主体的に学習に取り組んでほしいと思います。</p> |
| <p>5時間授業にして、授業に集中しやすくしてほしい。<br/>(同意見4件／類似意見3件)</p>   | <p>中学校では、年間で980時間程度の授業を行う必要があり、学校行事等を行うことを考えると、毎週28時間程度の授業を行うこととなります。授業に集中できることは大切と考えますので、6時間授業でも集中できるようにするためにはどうすればいいか、もう少し考えてみてください。</p>   |
| <p>モチベーションを上げるために、水曜日を休みにしてほしい。<br/>(同意見2件)</p>  | <p>中学校では、年間で980時間程度の授業を行う必要があり、学校行事等を行うことを考えると、毎週28時間程度の授業を行うこととなります。水曜日を休みにすると、モチベーションが上がる面もあるかも知れませんが、他の日に7時間授業を行う必要が生じてしまうため、あまりよい方法ではないと思います。他にモチベーションを上げる方法はないか、もう少し考えてみてください。</p>                        |
| <p>居残りして勉強できる自習室を作してほしい。<br/>(同意見10件／類似意見3件)<br/>放課後の学校の時間をフリーにして、好きなことや仲間と取り組む時間があるといい。</p> | <p>放課後に学習・活動できる場所や時間を作してほしいとのことですが、先生方は、部活動や委員会活動などの指導を行ったり、授業や学校行事などの準備を行ったりするなど、様々な業務があり、放課後活動の安全管理等を含め、学校の力だけでは、実現は簡単ではないと思います。そこで、現在、学校と地域が力を合わせて、多様な学びを実現する仕組みをつくらうと考えています。もしかしたら、その仕組みをうまく活用すれ</p>       |

|  |  |
|--|--|
|  | <p>ば、実現できる方法があるかもしれませんので、ただいた意見<small>いけん</small>を参考<small>さんこう</small>にしたいと思<small>おも</small>います。また、自分<small>じぶん</small>からもその思<small>おも</small>いを学校<small>がっこう</small>に届<small>とど</small>けてみてくださ</p>  |
| <p>給食<small>きゅうしょく</small>の時間<small>じかん</small>を長<small>なが</small>くしてほしい。<br/>(同意見<small>どういけん</small>5件<small>けん</small>)<br/>昼寝時間<small>ひるねじかん</small>を確保<small>かくほ</small>してほしい。<br/>(同意見<small>どういけん</small>1件<small>けん</small>)</p> | <p>各学校<small>かくがっこう</small>では、皆<small>みな</small>さんの健康<small>けんこう</small>とともに、年<small>ねん</small>間で決<small>き</small>められている授業時数<small>じゅぎょうじすう</small>や放課後<small>ほうかご</small>の活動時間<small>かつどうじかん</small>、下校時間等<small>げこうじかんと</small>についても配慮<small>はいりよ</small>しながら日課<small>にっか</small>を決<small>き</small>めています。<br/>おそらく昼休みの時間<small>ひるやす</small>には、昼寝も可能<small>じかん</small>だと考<small>かんが</small>えますが、更<small>さら</small>に必要<small>ひつよう</small>な具体的な理由<small>ぐたいてきりゆう</small>について、直接<small>ちよくせつ</small>学校<small>がっこう</small>にも伝<small>つた</small>えることも検<small>けん</small>討<small>とう</small>してみてください。</p>  |
| <p>ランク制度<small>せいで</small>を廃止<small>はいし</small>してほしい。<br/>(同意見<small>どういけん</small>1件<small>けん</small>)</p>   | <p>公立<small>こうりつ</small>の高等学校<small>こうとうがっこう</small>の入学選抜<small>にゅうがくせんぱつ</small>の制度<small>せいで</small>は、北海道<small>ほっかいどう</small>教育委員会<small>きょういくいいんかい</small>で決<small>き</small>められているものですので、札幌市<small>さっぽろし</small>だけで廃止<small>はいし</small>を検<small>けん</small>討<small>とう</small>できるものではありませんが、そのような制度<small>せいで</small>になっていることには理由<small>りゆう</small>があると考<small>かんが</small>えられます。<br/>その後の人生<small>ごじんせい</small>を左右<small>さゆう</small>することになるかもしれない入学選抜<small>にゅうがくせんぱつ</small>において、当日<small>とうじつ</small>の学力検査<small>がくりょくけんさ</small>の結果<small>けっか</small>だけで全てを決<small>き</small>めてしまった方が<small>すべ</small>いいのか、中学校<small>ちゅうがっこう</small>3年間の成果<small>ねんかんせいか</small>を加味<small>かみ</small>した方が<small>ほう</small>いいのかについては、意見<small>いけん</small>が分<small>わ</small>かれるところだと思<small>おも</small>いますので、もう少<small>すこ</small>し考<small>かんが</small>えてみてください。</p> |
| <p>修学旅行<small>しゅうがくりょこう</small>に持<small>も</small>っていけるお金<small>かね</small>を増<small>ふ</small>やしてほしい。</p>   | <p>修学旅行<small>しゅうがくりょこう</small>に持<small>も</small>っていくお金の金額<small>かねがく</small>は、各学校<small>かくがっこう</small>で決<small>き</small>めています。その金額設定<small>きんがくせってい</small>については、多<small>おお</small>ければよいということではないと思<small>おも</small>います。例<small>たと</small>えば、自由<small>じゆう</small>に買<small>か</small>い物<small>もの</small>ができる時間<small>じかん</small>や場<small>ば</small>所<small>しょ</small>がどれくらいあるかなどによって、適<small>てき</small>切<small>せつ</small>な金額<small>きんがく</small>があると思<small>おも</small>いますので、皆<small>みな</small>さんも一<small>いっ</small>緒<small>しょ</small>に考<small>かんが</small>えてみてください。</p>  |

|   |   |
|---|---|
| <p>しょうがく ねんせい とくい ぶんや とっか<br/>         小学6年生は得意分野に特化した<br/>         じゅぎょう う せいど<br/>         授業を受けられる制度にしてほし<br/>         い。</p>  | <p>ひとりひとり ちが おう きょういく すす<br/>         一人一人の違いに応じた教育を進めていくこと<br/>         たいへんじゅうよう おも とくい ふ とくい<br/>         は大変重要だと思ひますが、得意不得意にかかわ<br/>         らず、さまざま がくしゅう とく く<br/>         様々な学習に取り組むことによさもあると<br/>         おも にほん きょういく しょうちゅうがっこう すべ<br/>         思ひます。日本の教育は、小中学校では、全ての<br/>         きょうか ひっしゅう こうとうがっこういこう じぶん きょうみ<br/>         教科を必修とし、高等学校以降で、自分の興味・<br/>         かんしん とくせい おう まな かのう せいど<br/>         関心や特性に応じた学びを可能とする制度となっ<br/>         ていますが、どうしてそのような制度になっ<br/>         ているかについて、もう少し考へてみてくださひ。</p>   |
| <p>たいかいまえ れんしゅう た<br/>         大会前は練習が足りないので、<br/>         ぶかつどう にっすう じかん ふ<br/>         部活動の日数や時間を増やしてほ<br/>         しい。<br/>         どういけん けん りいじいけん けん<br/>         (同意見2件／類似意見2件)</p> | <p>ぶかつどう かど かつどう せいど<br/>         部活動については、過度な活動により生徒の<br/>         せいしやうき あんぜんめん けんこうめんとく ふたん<br/>         成長期における安全面、健康面等で負担となるこ<br/>         とがないよう、<br/>         しゅう にち へいじつ きゅうようび<br/>         ・週に1日は平日に休養日を設定する<br/>         しゅうまつ とうようび にちようび きゅうようび<br/>         ・週末は土曜日か日曜日のどちらかを休養日と<br/>         する<br/>         へいじつ かつどうじかん なが じかんでいど<br/>         ・平日の活動時間は長くて2時間程度<br/>         どにちしゅくじつとう かつどうじかん なが じかんでいど<br/>         ・土日祝日等の活動時間は長くて3時間程度<br/>         などの活動基準に沿って活動することとしていま<br/>         す。<br/>         こんご かつどうきじゆん のつと かくがっこう<br/>         今後も、これらの活動基準に則りながら、各学校<br/>         において、設置している部活動の意義や目的に沿<br/>         った形で、活動内容、練習時間を設定していきま<br/>         す。</p> |
| <p>おお せいど きぼう かつどう<br/>         より多くの生徒が希望する活動が<br/>         できるように、部活動の種類を増や<br/>         してほしい。<br/>         どういけん けん<br/>         (同意見6件)</p>  | <p>ぶかつどう いぎ ぶんか げいじゆつかつどう した<br/>         部活動の意義は、スポーツや文化・芸術活動に親<br/>         しみながら、さまざまながくねん せいと こうりゆう なか<br/>         様々な学年の生徒との交流の中で、<br/>         せいとどうし せんせい せいと あいだ りやうこう にんげん<br/>         生徒同士や、先生と生徒との間で良好な人間<br/>         かんけい こうちく はかつ<br/>         関係の構築を図ったりすることにあります。<br/>         ともだち きがる てき かつどう たの<br/>         友達と気軽にレクリエーション的な活動を楽しめ<br/>         てきど ひんど おこな さまざま きやうぎ しゆもく<br/>         る、適度な頻度で行える、様々な競技・種目を<br/>         たいけん せいと たよう なニーズに応じた<br/>         かつどう ば せいび む とりくみ すす<br/>         活動ができる場の整備に向けた取組を進めてい<br/>         きます。</p>   |

|   |  |
|---|--|
| <p>学習以外に気を取られることがないよう、もっと除雪に力を入れてほしい。</p>     | <p>冬季間においても安全かつ快適に学ぶことができる環境の確保は重要だと考えており、玄関や避難経路等学校使用にあたり必要な除雪を行っています。今後も学校施設の環境整備について、様々なご意見に耳を傾けながら検討していきます。</p>  |
| <p>つららや雪庇が危ないところをなくしてほしい。</p>                 | <p>安全・安心な教育環境の整備は重要だと考えており、つららや雪庇については、随時点検・除去作業を行っているほか、必要性に応じて未然に防止するための設備の整備を実施していきます。</p>  |
| <p>体育館を広くしてほしい。<br/>(同意見2件)</p>               | <p>学校の体育館については、国の補助金制度の上限面積を目安に整備を進めていますが、今後も、学校施設の整備内容について、様々なご意見に耳を傾けながら検討していきます。</p>  |
| <p>グラウンドを人工芝にしてほしい。</p>                       | <p>人工芝への変更は費用や維持管理の観点から困難ですが、学校の建替えを行う場合は、皆さんが、安全かつ快適に学ぶことのできる環境とグラウンドを新しく整備していきます。</p>  |
| <p>黒板をホワイトボードにしてほしい。<br/>(同意見19件)</p>         | <p>ホワイトボードについては、照明の反射や更新寿命が短いなどの理由から設置していませんが、よりよい教育環境を整備することは重要だと考えており、今後、電子黒板や学習用端末など教育環境の変化に応じて必要な整備を進めていきます。</p>   |
| <p>水飲み場の蛇口から自動で水が出るようにしてほしい。<br/>(類似意見1件)</p> | <p>よりよい教育環境を整備することは重要だと考えており、学校の建替えを行う場合は、手動水栓と自動水栓を交互に設置する方法で整備を進めていきます。</p>  |
| <p>嫌なことがあったときに一人になれる居場所がほしい。</p>              | <p>困ったことや悩んでいることがあるときには、身近な人に相談することが大切です。一人で抱え込まずに、スクールカウンセラーも含め校内で話しやすい先生に、声をかけてほしいと思います。気持ち落ち着きたいから、考えを整理したいからなどの一人になりたい理由を伝えた上で、先生やスクールカウンセラーなどに相談するとよいと思います。</p> |

|  |  |
|--|--|
|  | <p>ます。</p>   |
| <p>掃除用具を増やしてほしい。<br/>(同意見1件)</p>   | <p>学校では、毎年4月にその1年間に必要なものを買ったり、校舎などを直したりするための予算(お金)をもらって、どのように使うか計画を立てています。予算の金額は、学校の規模などにより異なりますが、それぞれの学校で、予算の範囲内で収まるよう工夫しながらやり繰りして使っています。皆さんがよりよい学校生活を送る上で、掃除用具が今よりもたくさんあった方がよいと思っただ理由や数などについて、学級や先生に提案してみるとよいと思います。</p>  |
| <p>大会に向けての取組や、より実力をつけるために、部活動の備品を充実させてほしい。<br/>(類似意見1件)</p>  | <p>札幌市では、部活動に必要な備品等を購入するための予算(お金)を、学校の規模や部活動の数に応じて各学校へ配分しています。予算の金額は学校によって異なりますが、それぞれの学校で、予算の範囲内で収まるよう工夫しながらやり繰りして使っていますので、部活動を充実させるために必要だと思っただ備品の内容や理由などについて、顧問の先生などに提案してみるとよいと思います。</p> <p>そのほか、部活動の充実に向けては、指導内容をより効果的にするため、部活動指導員などの専門的な外部人材を活用する取組を行っています。今後も学校や生徒のニーズに応じてより多くの学校に部活動指導員などの専門的な指導者を配置できるよう、外部人材の更なる活用に向けた取組を進めていきます。</p> |
| <p>教科書やノート、端末を置くには机が狭く使いにくいので、大きくしてほしい。<br/>(同意見13件)</p> <p>椅子の座面が硬くて座り続けると体が痛くなるため、学校の椅子をクッション性のあるものにしてほしい。</p> | <p>よりよい教育環境を整備することは重要だと考えており、学校の建替えのほか、老朽化の状況に応じて、必要な整備を進めていきます。今後も、学校施設の整備内容について、様々なご意見に耳を傾けながら検討していきます。</p>  |

|  |  |
|--|--|
| <p>どういけん けん<br/>(同意見13件)<br/>がっこうの おき べん ボックスには、かぎ<br/>学校の置き勉ボックスには、限られ<br/>た量しか入れることができないた<br/>め、かぎつ せっち<br/>め、鍵付きのロッカーを設置してほ<br/>しい。<br/>どういけん けん<br/>(同意見10件)<br/>しせつかんきょう かん るいじいけん けん<br/>施設環境に関する類似意見15件</p> |  |
| <p>せんせい ざんぎょうだい いっぱんてき すいじゆん<br/>先生の残業代を一般的な水準にす<br/>るなど、子どもに関わる大人のケア<br/>がひつよう おも<br/>必要だと思う。</p>   | <p>がっこう せんせい しゅうがくりょこうとう がっこうがい かつどう<br/>学校の先生は、修学旅行等の学校外での活動や、<br/>かていほうもんどう こじん かつどう なつやす どう ちょうき<br/>家庭訪問等の個人での活動、夏休み等の長期<br/>きゅうぎょうきかん などが、これらの はたら かた とくしゆせい<br/>休業期間などがあり、これらの働き方の特殊性<br/>から、いっばんてき きんむじかん かんり<br/>一般勤務時間の管理になじまないた<br/>め、じかんがいきんむてあて ざんぎょうだい か きゅうりよう<br/>時間外勤務手当(残業代)の代わりに給料<br/>げつがく そうどう がく てあて しきゅう<br/>月額の4%に相当する額を手当として支給してい<br/>ます。<br/>ただ、せんせい むかし くら いそが<br/>た、先生が昔と比べて忙しくなっていること<br/>から、げんざいくに てあて みなお<br/>現在国においてこの手当の見直しについて<br/>けんとう みなお けつか おう ひつよう<br/>検討しています。その見直し結果に応じて、必要な<br/>たいおう おこな<br/>対応を行います。</p> |
| <p>きょういん ろうどうじょうけん かいぜん<br/>教員の労働条件を改善してほし<br/>い。</p>  | <p>がっこう せんせい こうむいん きゅうよ みんかんきぎょう<br/>学校の先生などの公務員の給与は、民間企業との<br/>きんこう たも じんじいいかい みんかんきぎょう きゅうよ<br/>均衡を保つため、人事委員会が民間企業の給与を<br/>ちょうさ おこな かんこく もと しきく<br/>調査して行う勧告に基づいて決める仕組みとな<br/>っていますので、こんご かんこく さんちよう かいいてい<br/>今後勧告を尊重した改定を<br/>おこな<br/>行っていきます。<br/>また、せんせい ちょうじかんきんむ かいしよう む<br/>また、先生の長時間勤務の解消に向けて、これま<br/>でも はたら かたかいかく さまざま とりくみ すす<br/>働き方改革につながる様々な取組を進めて<br/>いますが、ICT かつよう きょうむふたん けいげんどう ひ<br/>を活用した業務負担の軽減等、引<br/>つづ せんせいがた はたら しょくばかんきょう せいび つと<br/>き続き先生方が働きやすい職場環境の整備に努<br/>めていきます。</p>   |
| <p>きょういんすうぞうか がつきゅうにんずう げんしょう<br/>教員数増加、学級人数の減少、<br/>ちいき ひと じゅぎょう ぼさ きょういん<br/>地域の人の授業補佐など、教員の<br/>ふたんけいげん とりくみ<br/>負担軽減の取組をしてほしい。</p>   | <p>せんせい にんずう がつきゅう にんずう くに さだ ほうりつ<br/>先生の人数や学級人数は、国が定めた法律に<br/>もと 基<br/>基づいて決められていますので、その改善につい<br/>ては ひ つづ くに ようぼう<br/>ては引き続き国に要望していきます。また、せんせい<br/>の きょうむ<br/>業務をサポートするスタッフを ゆうこう かつよう<br/>有効に活用する<br/>など、きょういん ふたんけいげん せいび<br/>など、教員の負担軽減につながる取組を進めて<br/>いきます。</p>  |

|                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <p>先生のメンタルケアや自己肯定感を高める取組をしてほしい。</p> | <p>先生のメンタルケアとして、毎年、自分のストレスの程度を把握し、メンタルヘルス不調の防止を目的に、ストレスチェックを全員に実施しています。</p> <p>また、悩みを相談できる教職員相談室を設置し、先生からの相談を受けています。今後も、先生方に相談室の積極的な案内をするなど、取組を充実していきます。</p>                       |
| <p>誰でも塾に通うことができるように、費用を支援してほしい。</p> | <p>塾に通う費用を市が負担することは難しいですが、札幌市では、「ドリルパーク」という学習アプリを導入しており、様々な問題に取り組みんだり、詳しい解説をみながら学習を深めたりすることが可能となっています。札幌市立小中学校等に通う児童生徒の皆さんは、この学習アプリを家庭での学習でも活用することが可能となっていますので、積極的に活用いただきたいです。</p> |
| <p>筆記用具を配布してほしい。</p>                | <p>学校で使える予算(お金)は、皆さんが共同で使う設備を直したり、学校で保管してみんなでするためのいろいろなものを買ったりすることに使います。このため、個人に配布する目的で筆記用具などをかうことはできません。みんなでするための教室のものなどは予算の範囲内でかうことができます。</p>                                    |

## 資料の配布・公開について

第2期札幌市教育振興基本計画の詳しい内容が書かれた冊子を、市役所、区役所などで配布しているほか、札幌市公式ホームページでも公開しています。

## 大人の皆様へ

令和5年12月から令和6年1月まで、第2期札幌市教育振興基本計画(案)に対する意見を募集しました。この資料は、小・中学生から寄せられた意見の概要と、それに対する札幌市教育委員会の考え方について報告するものです。

ぜひ、お子様と一緒にお読みください。

### <問い合わせ先>

札幌市教育委員会生涯学習部総務課

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 STV北2条ビル5階

TEL:011-211-3825

Eメール:[kyoiku-seisaku@city.sapporo.jp](mailto:kyoiku-seisaku@city.sapporo.jp)

